

2025年(令和7年)度 事業報告書  
2025年1月1日～2025年12月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother

## 1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子ども達に心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事を目的とし2007年設立、2008年内閣府認証。

社会、人間が抱える諸問題として、環境破壊、心身破壊が有り、地球の再構築が必要と考える為、具体的な取組として2009年から愛知県豊田市や犬山市羽黒や岡崎市幸田にて活動を開始。2010年からは、豊田市藤岡・下川口・池島町でビオトープや冬水田んぼも始め、生き物が集まる自然耕が出来、農業が始まり、2016年から豊田市藤岡・猿投町が活動の中心。2019年からは日進市での農業と福祉による事業構築を始めた。名古屋市、豊田市、日進市を拠点として活動。

2025年度は定款5条8項目を11事業に変更。愛知県住宅計画課委託で日進市都市計画課協働事業「人にやさしい街づくり地域セミナーinにっしん」運営からスタートし、他団体交流では、中京大学とのイベント協働事業、日進西高等学校探求授業請負、愛知県立大学戦略企画・広報室との学部新設に向けて合同会議準備。毎年恒例の圃場での食農企画、環境イベントとして猛暑の中、生き物調査を実施。また市民農園事業継続。食農事業では、昨年につき圃場全般の整備、土づくりを実施。例年の気候変動で農作物の収穫に大きな影響を受ける中、食農イベントでは田植え、稲刈りを実施。活動趣旨を伝えながら食農農事ボランティア募集。丁寧な対応を心がけにより継続参加者や会員が増加。日進市生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進事業では「いくるばにっしん」継続。また環境保全事業では、環境課委託事業「にっしんESD講座」座学とフィールドワークの開催。食育推進事業では、農林水産省消費・安全対策交付金（愛知県 地域での食育の推進事業）の助成を受け、教育ファーム検討委員会、にっしんスタジオアグリFOOD EDUCATIONと題した講演会と映画上映シンポジウム実施。食育イベントとして「食農感謝祭」を豊田市と日進市で当会圃場にて開催。食育部門が年間を通じたイベントで食事を提供。日進市農政課委託事業として、「オーガニック米作り体験コース」「オーガニック野菜作り体験コース」開校。

日本人の主食である米価が高騰する中、政府や農林水産省の施策も効果的な成果は見られず、2025年統計の農業従事者の平均年齢は68歳と高齢。ご多分に漏れず、豊田市藤岡・猿投地区と日進市岩藤町大清水（東部丘陵）でも農業後継者が激減し、遊休農地や耕作放棄地が増え続け、食糧の国内自給率低下は深刻な未来課題である。暮らしの中で実行できる半農半就による地産地消と有機循環自然農法を伝承し、「母なる大地」自然と共生する重要性、生命を育む大自然の営みである叡智と恩恵を学び、真農業である農薬、除草剤、化学肥料不使用の安心安全な身体に良い氣力野菜、氣力米の栽培を互助精神で実践。会員をはじめ親子や一般参加者、ボランティアが農業に関わる環境と機会を積極的に提供。健康で持続可能な地域共生社会を基盤とするモデルコミュニティ構築を実現できるよう、愛知県より岐阜県、三重県、千葉県、兵庫県、青森県、東京エリア等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努める。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 食育を推進する事業。
- ⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ 介護保険法に基づく地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業。
- ⑨ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業。
- ⑩ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業。
- ⑪ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

#### 【①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業】

##### 事業の成果

WEBシステム利用による情報発信、中京大学 今井ゼミとの連携事業を通じ団体交流を実施。

#### (ア) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／WEBシステム」

##### 事業内容

WEBシステム利用の活動は、メール配信にてイベント、セミナー、ボランティア募集等の発信。会員以外の方への情報発信は、FacebookやInstagram等にて実施。

豊田市の公的広報「とよた市民活動センター」のHP、日進市の月刊「広報にっしん」、「東海農政局食育メールマガジン」、愛知県「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報を掲載。

#### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (WEBシステム)	メール配信、公的な広報等にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信を行う	(A) 2025年(R7) 1月1日～ 12月31日 (B) 当会事務所等 (C) 24人 (2回/月)	(D) 会員、一般 県民市民 (E) 不特定多数	0円

#### (2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0円  
(内訳)

## (3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

年間を通じてコンスタントに情報配信ができた。

WEBシステムを活用して新たなネットワークについても積極的に取り入れていく。

## (イ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」

## 事業内容

「田んぼで逃げきれ！どろんこ草抜きバトル」を開催

今井ゼミの3年生5名が今年度中心担当になり、昨年度開催した除草イベントを新たにアレンジをして実施。オーガニック米づくり体験コース内で企画のチラシを配布し受講生に案内すると共に、過去のアグリスクール参加者にメールで案内。結果、7世帯23人の参加となる。「田んぼで氷鬼&米クイズ」「お宝草抜きバトル」「かかし短冊づくり」を通じて、米づくりの裏側や、お米や農に関する知識を楽しみながら知る機会になり、参加者の評価は最高評価を得る。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	中京大学今井ゼミ「田んぼで逃げきれ！どろんこ草抜きバトル」の協働事業(オーガニック米作り体験コースのオプション企画)	(A)2025年(R7)7月6日9:30~12:00 (B)日進市米野木圃場 (C)21人	(D)オーガニック米作り体験コース受講生等 (E)7世帯23人	0円

## (2) 総費用(無償ボランティア 21人)

総合計 0円  
(内訳)

## (3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

子ども達への、1家族に1スタッフ付いて円滑に進んだ。

今までで一番完成度の高い内容となった。



(ウ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」  
事業内容

中京大学総合政策部今井ゼミとの連携事業 「VS田 (TANBO)」 を開催。

7月に行った「田んぼで逃げきれ! どろんこ草抜きバトル」に続き、今井ゼミの3年生5名が中心となって実施。オーガニック米づくり体験コース内で受講生に案内すると共に、過去のアグリスクール参加者にも案内。4世帯15人の参加に留まる。「害虫キッキングスナイパー」「竹切体験」「TANBODEQUIZE」「竹コップリレー」の4つの競技を通じて、親子で楽しみながらお米に関する知識を学ぶ機会となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位: 円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	中京大学今井ゼミ「VS田 (TANBO)」の協働事業 (オーガニック米作り体験コースのオプション企画)	(A) 2025年 (R7) 10月11日 9:30~12:30 (B) 日進市米野木圃場 (C) 21人	(D) オーガニック米作り体験コース受講生他 (E) 4家族 15人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 21人)

総合計 0円  
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

昨年までの内容で参加者の興味関心の高かったミニゲームに特化した内容にしたことで、親子で一緒に楽しめる内容になった。



(エ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／その他」  
事業内容

I-TEN(株)様の経営と従業員に対しての相談指導。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (その他)	会社の経営と従業員に対しての相談指導	(A)月1回 (B)事務所又はリモート (C)24人	(D)企業会員 (E)1人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 24人)

総合計 0円  
(内訳)

(3) 収益

総合計 600,000円  
(内訳)

・I-TEN(株) 顧問料 600,000円

【②自然再生と環境の保全活動を支援する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

自然再生と環境の保全活動を支援する事業は、環境セミナーとしてマザリーアースプロジェクトセミナーを開催。環境イベントとしては、毎年恒例の田んぼの生き物調査を実施。

寺子屋ものづくりは、ニッシー粘土教室を、わいわいフェスティバル、にっしん夢まつり、にっしん市民祭りにブース出店し実施。

(ア) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境セミナー」

事業内容

マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。

本年度も、総会後に開催し、愛知の各事業部と青森、千葉、岐阜、三重、兵庫各支部、東京エリアの活動を発表。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	マザリーアースプロジェクトセミナーを開催 各エリア、支部活動発表	(A) 2025年(R7) 3月9日 13:00～16:00 (B) Niterra 日本特殊陶業市民会館(名古屋市民会館) 第1会議室 (C) 15人	(D) 会員・一般 (E) 42人	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 15人)

総合計 0円  
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

役割分担の漏れがあった。準備進捗状況を共有し漏れが無いよう再度確認。

佐藤監事より事業展開が進んでいない指摘有り。他団体の活動を視察等するよう助言。



(イ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業/環境イベント」

事業内容

環境イベント「自然と共生する田んぼで生き物みつけ♪」を開催。

年4回の豊田市での主たるイベント第2回目を実施。自然の中で生き物を観察、共生している事を学ぶ体験学習。安心・安全な圃場(農薬、化学肥料、除草剤不使用)にてカエルや

トンボ、絶滅危惧種のヒメタイコウチ等のいろんな生き物を調査。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境 の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	第1回 環境イベント 「自然と共生する 田んぼで生き物 みつけ」を開催	(A)2025年(R7) 8月3日 9:30~13:00 (B)豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C)12人	(D)愛知県 一般、会員 (E)20人	1,700円

(2) 総費用 (無償ボランティア 12人)

総合計 1,700円

(内訳)

・賃借料 800円 ・保険料 900円

(3) 収益

総合計 21,400円

(内訳)

参加費

・大人 (高校生以上) 18,000円 (1,200円×15人)  
 ・小中学生 1,000円 (200円×5人)  
 ・未就学児 0円 (0円×4人)  
 ・スタッフ 2,400円 (200円×12人)

(4) 反省点・改善ポイント

日照り続きで猿投山からの水も少なく、生き物も暑さを凌いでいるのか見ために例年と比べ少なかった。子ども達が元気に沢山の生き物と触れ合う機会となる。



(ウ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業/環境イベント」

事業内容

以前に植菌した原木椎茸が発生、収穫し販売。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	原木椎茸の収穫、販売	(A)2025年(R7) (B)豊田市猿投町 (C)2人	(D) — (E) —	13,860円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 13,860円

(内訳)

・仕入 13,860円

## (3) 収益

総合計 43,500円

(内訳)

・椎茸売上 43,500円

## (4) 反省点・改善ポイント

本年度も椎茸を販売することが出来た。原木椎茸の栽培は自然との共生により農産物が育つ事を体験しながら学習する機会の一つとなる為、今後も開催検討。

## (エ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／市民農園」

## 事業内容

市民農園マザリーアースの管理運営。

市民農園の運営を豊田市共働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。6期を迎えた2016年度より当法人の自主事業運営となる。また市民農園指導教室は開催案内を広報したが、6月中止、11月開催。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (市民農園)	市民農園	(A)2025年(R7) 1月から12月迄 随時受付 (B)市民農園 マザリーアース (C)5人	(D)豊田市 一般・会員 (E)13人	85,880円

②自然再生と環境 の保全活動を支援する事業 (市民農園)	土づくり教室 青空交流会  開催中止	(A) 2025年(R7) 6月22日 9:30~13:00 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 6人	2,014円
②自然再生と環境 の保全活動を支援する事業 (市民農園)	野菜づくり教室 青空交流会	(A) 2025年(R7) 11月9日 9:30~13:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 4人	1,100円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 8人)

総合計 88,994円 (85,880円 + 2,014円 + 1,100円)

(内訳)

・諸謝金講師料 (2人無料)	0円	・仕入高NPO	1,134円
・通信運搬費	2,750円	・支払手数料	60,165円
・消耗品費	6,401円	・車両費	15,940円
・地代家賃	2,604円	・銀行手数料(管)	550円

## (3) 収益

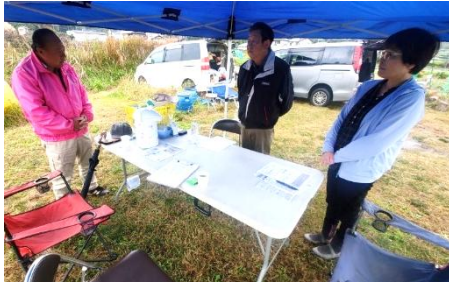
総合計 125,622円

(内訳)

・市民農園セミナー参加料	6,000円
1回目 利用者	600円 × 6名 = 3,600円
2回目 利用者	600円 × 4名 = 2,400円
・市民農園利用料 (13人)	119,622円
1区画利用者	5,500円 × 8名 = 44,000円 (8区画)
2区画利用者	11,000円 × 3名 = 33,000円 (6区画)
3区画利用者	16,500円 × 1名 = 16,500円 (3区画)
4区画利用者	22,000円 × 1名 = 22,000円 (4区画)
・前受金2025年1~3月分	24区画分差引 32,976円
・前受金2026年1~3月分	21区画分差引 ▲28,854円

## (4) 反省点・改善ポイント

集客については、今回のイベントのチラシを作成し現場での声掛けやDMを出したが発送が遅くなった。今後はもっと速やかに進めて行きリピート参加に繋げていく。



(オ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／その他」

事業内容

第1回 につしんESD事業「につしん自然財宝 希少動植物を知り学ぼう！！」を開催。昨年に引き続き、日進市環境課の業務委託事業「令和7年度コミュニティ公募提案型〔につしんESD事業〕」に応募し審査の結果、募集要項に規定する目的・テーマに即していると承認され受託契約を締結し事業実施。

第1回目の講座は、黒田忠晃理事より日進市第2次環境基本計画概要の説明後、外部講師 鬼頭弘氏を招き東部丘陵地周辺に生息する希少動植物の写真やパネルを用いて、生態系や実態等の生物多様性を学習。生き物を生態系のピラミッドに入れるワークショップでは、自然の中で様々な動植物昆虫の生命が繋がりが合い生息していることを理解。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (その他)	日進市の重要な自然環境を知り学び環境保全活動を推進する講座とワークショップを開催。第1回 につしんESD事業「につしん自然財宝 希少動植物を知り学ぼう！！」	(A) 2025年(R7) 7月12日 10:00～12:00 (B) 日進市にぎわい交流館 (C) 3人	(D) 日進市民、 会員 (E) 22人	32,430円

(2) 総費用

総合計 32,430円

(内訳)

・ 諸謝金 27,000円

・ 印刷製本費 4,930円

・ 旅費交通費 500円

(3) 収益

総合計 44,649円

(内訳)

#### (4) 反省点・改善ポイント

日進市内に残存する自然や希少価値のある植生や生き物（昆虫）の認知度が上がり、自然環境を守る重要性に気づいた市民や会員が多くいた。更に理解を深め実践する協力支援者を拡大できるかが課題。



#### (カ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／その他」

##### 事業内容

第2回 にっしんE S D事業「知って得するカラダとココロの健康食と自然観察」を開催。第2回目の講座は、会場を東部丘陵地周辺の野外に移してフィールドワーク講座を開講。当会黒田忠晃理事より会の活動紹介と日進市第2次環境基本計画概要の説明後、第1回講座に引き続き、岩藤川自然観察会代表の鬼頭弘氏を講師に招いて、総合運動公園～東部丘陵に実際に歩きながら、秋冬の昆虫や植物を手に取り、生態系サービス（生物多様性）を学習。沢山の植物草木と昆虫や生き物に出会う中で、自然と人間の共生する環境保全の大切さ、担い手のいない耕作放棄地の維持管理の重要性を改めて考える機会となる。

#### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(B) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (その他)	日進市の重要な自然環境を知り学び環境保全活動を推進するフィールドワークを開催。第2回 にっしんE S D事業「カラダとココロが喜ぶ自然観察会～東部丘陵編～」	(A) 2025年(R7) 11月8日 9:30～12:00 (B) 日進市総合運動公園～東部丘陵 (C) 3人	(D) 日進市民、 会員 (E) 19人	37,780円

#### (2) 総費用

総合計 37,780円

(内訳)

・ 諸謝金 33,000円

・ 印刷製本費 3,200円

・旅費交通費	500円	・保険料	750円
・消耗品費	330円		

## (3) 収益

総合計 44,649円

(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

持続可能な自然と共生する地域社会づくりや生物多様性への関心が高まり、地域資源を知り環境保全への理解が浸透。引き続き多様な視点からアプローチする啓発活動を行い、市民の関心を育て賛同する協力者や会員を増やすことが課題。



## (キ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

## 事業内容

にしんわいわいフェスティバル2025にて、日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」出展。

運営委員の村野政章、黒田忠晃、講師として黒田雅也、伊藤厚にてニッシーの粘土人形教室を実施。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	ハサミを使用し、粘土から人形を作り出すことで、子どもたちの手先の器用さや創造力の向上をサポート。	(A)2025年(R7)7月5日 10:00~16:00 (C)日進市民会館展示ホール (C)4人	(D)一般市民 (E)9人	5,405円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 4人)

総合計 5,405円

(内訳)

・仕入 5,405円

## (3) 収益

総合計 4,500円

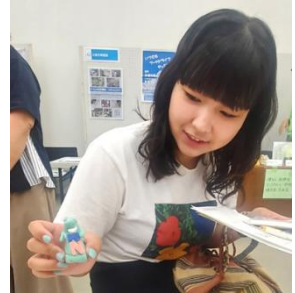
(内訳)

参加費

・4,500円 (500円×9人)

(4) 反省点・改善ポイント

備品(椅子)の準備が不十分で急遽対応。申込の際に入念なチェックが必要。  
呼び込み易いポップ等を作成、貼付し参加者を誘導する事、事務局からのイベント案内を充実し動員増加を図る。



(ク) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業/寺子屋ものづくり」

事業内容

にしん夢まつりにて、日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」出展。  
運営委員の村野政章、黒田忠晃、講師の黒田雅也、服部裕一、伊藤厚にてニッシーの粘土人形教室を実施。人気があり参加者が満席になる事もあった。子どもから大人まで時間を忘れ、熱中して楽しみながらニッシーを作成。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業(寺子屋ものづくり)	ハサミを使用し、粘土から人形を作り出すことで、子どもたちの手先の器用さや創造力の向上をサポート。	(A)2025年(R7)9月14日10:00~16:00 (B)日進市役所 (C)5人	(D)一般市民 (E)32人	21,082円

(2) 総費用(無償ボランティア 5人)

総合計 21,082円

(内訳)

・仕入 3,797円

・印刷製本費 80円

・賃借料 17,200円

・消耗品費 5円

(3) 収益

総合計 16,000円

(内訳)

参加費

・ 16,000円 ( 500円×32人 )

## (4) 反省点・改善ポイント

準備物に漏れがあった。チェック表等を作り整備。参加人数に合わせ講師の動員を増やす事を検討。



## (ケ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

## 事業内容

にしん夢まつりにて、日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」出展。運営委員の村野政章、黒田忠晃、講師の黒田雅也、服部裕一、伊藤厚にてニッシーの粘土人形教室を実施。人気があり参加者が満席になる事もあった。子どもも大人も楽しんで時間を忘れて熱中してニッシーを作成。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	ハサミを使用し、粘土から人形を作り出すことで、子どもたちの手先の器用さや創造力の向上をサポート。	(A) 2025年(R7) 11月16日 10:00～16:00 (B) 日進市役所 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 21人	10,000円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 10,000円

(内訳)

・ 賃借料 10,000円

## (3) 収益

総合計 10,500円

(内訳)

参加費

・10,500円 (500円×21人)

#### (4) 反省点・改善ポイント

会場の出展ブースの場所が裏通りにあった事や出展箇所が多く来場者が分散し、ニッシー作りの参加者が少なめとなる。次回は参加者が少ない又は分散する事も考えて集客を検討。参加人数に合わせ講師動員を増員を検討。

### 【③保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業】

#### 事業の成果

※ 講師等役職名前は敬称略

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方やものの見方、考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、物事の考え方、言葉の使い方、生き方を変える事で「プラス思考」に言葉遣いを変えていく事で、人生観が変われる生き方を指導。物事の考え方を変えるだけで、悩みが解消されて心の問題が解決に変わっていく。解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革自己啓発の仕方を指導。

#### (ア) 「③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業／福祉」

##### 事業内容

心の学校を開催。

ほぼ6年振りにワークショップ形式セミナーを本部事務所、ZOOMにて開催。山本理事長の代行として後藤元彰、長谷川幸子が担当。テキストとしてNHKきょうの健康「ストレス対処法」を使用。山本理事長のマザリーアースプロジェクト、生活困窮者支援事業に対する思い、ストレスが溜まり病気となる事「病は気から」、揺るぎない信念の大切さ、ストレスを溜めこまない気分転換の話、性格分析ツール「エゴグラム」、職場のストレス等について学習、参加者の経験等を共有。本部では「えんたくん」を活用。また、長谷川幸子講師より病気の症状がどの様な心の遣い方から来ているのかを解説。

#### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
③保健、医療、 福祉、健康促 進事業及び それらを支 援する事業 (心の学校)	心の学校開催 NHKきょうの健康 「ストレス対処法」 を使用して実施。 「ストレスとうまく つきあう方法」	(A)2025年(R7) 7月21日 13:30～17:00 (B)鶴舞事務所、 ZOOM (C)4人	(D)会員・一般 (E)18人	3,480円

③保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業 (心の学校)	心の学校開催 NHKきょうの健康「ストレス対処法」を使用して実施。 「万病のもと！ストレス」	(A) 2025年(R7) 9月21日 13:30～16:30 (B) 鶴舞事務所、 ZOOM (C) 4人	(D) 会員・一般 (E) 11人	3,480円
③保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業 (心の学校)	心の学校開催 NHKきょうの健康「ストレス対処法」を使用して実施。 「まさか「家族」がストレスに！？」 「エゴグラム」	(A) 2025年(R7) 10月13日 13:30～16:30 (B) 鶴舞事務所、 ZOOM (C) 4人	(D) 会員・一般 (E) 12人	3,480円
③保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業 (心の学校)	心の学校開催 NHKきょうの健康「ストレス対処法」を使用して実施。 「どう乗り切る？」「職場」ストレス」	(A) 2025年(R7) 11月3日 13:30～16:30 (B) 鶴舞事務所、 ZOOM (C) 4人	(D) 会員・一般 (E) 12人	3,480円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 8人)

総合計 13,920円

(内訳)

・旅費交通費 9,920円 ・賃借料 4,000円

## (3) 収益

総合計 42,000円

(内訳)

・参加費

7月21日 13,000円

(鶴舞事務所 1,000円×3人 ZOOM 1,000円×10ヶ所)

9月21日 8,000円

(鶴舞事務所 1,000円×3人 ZOOM 1,000円×5ヶ所)

10月13日 11,000円

(鶴舞事務所 1,000円×5人 ZOOM 1,000円×6ヶ所)

11月 3日 10,000円

(鶴舞事務所 1,000円×5人 ZOOM 1,000円×5ヶ所)

## (4) 反省点・改善ポイント

久し振りの開催、講義内容について準備がギリギリとなった為、計画的に行う。

生活困窮者支援事業に対する心の学校でもある為、関係者全員に声かけを行う。

「えんたくん」は近距離でその場で文字にし共有して相互により話し易い場を実感。

参加者のこの1か月の振り返りに対して長谷川講師から一人一人ご注意の言葉を頂き、前回からの繋がりを活かす。



#### 【④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業】

##### 事業の成果

##### ※ 講師等役職名前は敬称略

食農活動は「心の学校（メンタルヘルス）の課外授業」として位置付けられ、十年以上に渡り有機循環自然農法（冬期湛水・冬水たんぼ）を実践する豊田市猿投地区のマザリーアースファームで年2回の食農イベントを開催。1回目は「生き物いっぱいの田んぼで行う素手での田植え体験」、2回目は「生き物いっぱいの田んぼで行う稲刈りと五平餅作り体験」を実施。自然と共生する環境にやさしい暮らしと体験を通じて食育・食農の重要性を伝える機会を提供。

豊田市猿投町別所と藤岡飯野町の当会圃場で随時、障がいを伴う方々（自閉症、知的障害、発達障害等の精神障害）、ストレス社会の中で生きづらさを抱える引きこもりや鬱病、社会的セーフティーネットを要する生活困窮者や生活困難者、被保護者の方々の安全な居場所や就労準備支援及び訓練の場として活用。日進市本郷町、米野木町圃場でも同様に生活困窮者等就労準備支援事業「いくるばにっしん」の利用者が体力向上を図り、食農活動を行う中で、自己肯定感や自己有用感を取り戻しながら就労への喚起を促す機会を提供。社会復帰への一助となり就労定着。

当会の目指す地域共生社会づくりの一環として各行政機関や大学・研究機関との協働、県民市民や会員活動および賛同企業会員との共働による真農業福祉コミュニティ地域モデルづくりを目指し、有機循環自然農法（栽培期間中農薬、化学肥料、除草剤不使用）の安心安全な作物作りを実践。

農業従事者も高齢化が進み、担い手が減少し、食料自給率は更に低迷し、食糧輸入に頼る様な日本の食料安全保障の取組みでは食料危機が起きると懸念される中、荒廃する遊休農地等の耕作放棄地の解消対策を県民市民一人ひとりが環境負荷を軽減する生活様式の一部を変える半農半就スタイル、いわゆる持続可能な有機循環自然農の暮らしへ変革するための啓発と普及を会員や一般県民市民、学生を含むボランティアに向けての実践指導の発信と継続。

当会の実践指導する有機循環自然農法栽培の氣力米や氣力野菜は、栽培期間中農薬・化学肥料・除草剤不使用だけでなく、携わる人の心を育て、土をつくる為、安全かつ安心して食せるとともに野菜本来の風味があり栄養的にも優れており予防医学の観点からも健康維持増進に役立ち、美味しいと好評。この様な国産国消（地産地消）の農産物や食材を提供する食農イベントで、種播き苗植えから環境生態の観察、収穫調理等を経て共食する体験を通じて感謝する心を育む食育の機会を増やし、心身共に健康で持続可能なコミュニティと地域社会の再生を推進する環境保全型農業を実践する事で生態系や生物多様性に関心を持ち、自然の恵みに感謝しながら生き物や自然と共生し、互助の精神で共に助け合う農業と福祉を生活基盤とする自給圏経済のコミュニティ構築を目指して実践実行中。

また、有事において、食糧危機や災害時に備え、生き残る為には自然の叡智と先人の智恵から学び、自然と共生することで生態系サービスの恩恵を拝受し、人のあるべき姿の優しく寄り添い互酬する愛に満ちたコミュニティを構築することが最優先。気づいた大人である私たちが使命感を持って実践実行し、次世代を担う子どもたちや若い世代、学生ボランティアを積極的に受け入れ6つの活動理念の徳育を共有していくことが最重要。

(ア) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事事業」

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュ ニティの構 築事業 (農事事業)	自動車等修善費 自動車保険 集落協定	(A) 2025年(R7) 1月1日～ 12月31日 (B) — (C) —	(D) — (E) —	222,136円

(2) 総費用

総合計 222,136円

(内訳)

・修繕費	72,391円	・支払手数料	165円
・保険料	113,180円	・租税公課	33,800円
・旅費交通費	2,600円		

(3) 収益

総合計 10,900円

(内訳)

・農事事業部集落協定 10,900円

(イ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／食農イベント」  
事業内容

「第1回食農イベント 田植え」を開催。

峰のむらさきの田植え・苗取り体験を実施。朝から雲が多く雨を心配した中で田植えイベントを開催。参加18名、別所田圃1段目に峰のむらさきの苗6千株程度を植付け。また、自然災害等で電気が使えない状況等を想定し、火起こしと竹筒炊飯体験を実施。午前中にスケジュール通りに実施、雨の影響無く試食まで完了。イベント終了後も田圃に残り補植作業や自然の中で泥んこになって遊ぶ子ども達の姿があり、楽しんでイベントを満喫。

「第2回食農・食育イベント お米の稲刈りと五平餅作り体験」を開催。

食農体験として峰のむらさきの稲刈り・稲わらしぼり・はざがけ体験を実施。食育体験として五平餅づくりを実施。参加者19名、稲刈り体験は動物による食害があった為、約一反の圃場の中で食害がなかった箇所を中心に行う。親子や家族間で刈り残しが無い様に協力して刈取り、手際良くしぼりとはざ掛けまで完了。五平餅作り体験は峰のむらさき入りのご飯を使用し、整形味噌塗りを2チームに別けて行い、焼きはスタッフにて実施。旬の野菜の味噌汁も提供。食農と食育の大切さを伝える良い機会となる。

### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュニ ティの構築 事業 (食農 イベント)	親子で楽しむ♪ 食 農・食育体験 むら さきのお米の田植え をしよう！を当会豊 田市圃場にて開催。	(A)2025年(R7) 5月4日 9:30~13:00 (B)猿投棒の手会 館裏当会圃場 (C)14人	(D)自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E)18人	1,400円
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュニ ティの構築 事業 (食農 イベント)	生き物いっぱいの完 全オーガニックの田 んぼで昔ながらの稲 刈り体験をしよう♪ 五平餅付きを当会豊 田市圃場にて開催。	(A)2025年(R7) 9月28日 9:30~13:00 (B)猿投棒の手会 館裏当会圃場 (C)15人	(D)自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E)21人	1,715円

### (2) 総費用(無償ボランティア 29人)

総合計 3,115円 (1,400円+1,715円)

(内訳)

- ・賃借料 1,600円 (800円+800円)
- ・保険料 1,350円 (600円+750円)
- ・支払手数料 165円

### (3) 収益

総合計 55,165円 (18,200円+36,965円)

(内訳)

- 「親子で楽しむ食農・食育体験 むらさきのお米の田植えをしよう」(5/4) 18,200円
  - ・大人(高校生以上) 14,400円 (1,200円×12人)
  - ・小中学生 1,000円 (200円×5人)

- ・未就学児 0円 ( 0円× 1人)
- ・スタッフ 2,800円 ( 200円×14人)

○「生き物いっぱいの完全オーガニックの田んぼで昔ながらの

稲かりたいけんをしよう五平餅付き」(9/28) 36,965円

- ・大人(高校生以上) 18,000円 (1,200円×15人)
- ・小中学生 800円 ( 200円× 4人)
- ・未就学児 0円 ( 0円× 2人)
- ・スタッフ 18,000円 (1,200円×15人)
- ・支払手数料 165円 ( 165円× 1人)

(4) 反省点・改善ポイント

竹筒炊飯は数年振りの実施、竹の切り出しや竹筒の加工等の方法を忘れていた部分があり竹筒の形状や平行度等がまちまちの出来栄となり、火にかけた際にお米が片寄ったり、火がうまく当たらないものがあり炊飯が難しくなる。次の機会には竹筒製作時から確実にポイントを伝え出来栄精度を上げる。

稲刈りは、厳しい暑さが残る中での開催で水分取得や体調管理に注意しながら実施し無事終了。五平餅作り体験は2チームに別けて稲刈り体験と入れ替える形で行った為、時間配分が難しくまた入れ替えの際にあぜで参加者同士が交錯してしまうような状況になる。事前のシュミレーションを再度確認。

会の活動周知の大切な機会であり、さらに集客を図ると共に、今回のご縁を大切につなげるよう努める。



(ウ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業/マルシェ」

(1) 開催日時

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(マルシェ)	農産物の生産・販売	(A)2025年(R7) 1月1日～ 12月31日 (B)当会イベント会場等 (C)550人	(D)一般・会員 (E)不特定多数	4,225,422円

## (2) 総費用（無償参加ボランティア 延べ550人）

総合計 4, 225, 422円

## ○人件費用

(内訳)

・正会員従事者（1人）

・給料手当 2, 833, 600円

・法定福利費（事） 57, 024円

○仕入、棚卸関係 1, 334, 798円

・当期仕入高 446, 356円

・期末棚卸高 ▲93, 958円

・車両費 96, 264円

・通信運搬費 9, 110円

・消耗品費 320, 418円

・水道光熱費 61, 793円

・研修費 33, 000円

・減価償却費 239, 717円

・印刷製本費 2, 150円

・期首棚卸高 103, 453円

・租税公課 14, 481円

・広告宣伝費 16, 610円

・支払手数料 4, 024円

・修繕費 3, 740円

・地代家賃 24, 000円

・保険料 48, 550円

・旅費交通費 5, 090円

・法定福利費（管）418, 320円

## (3) 収益

総合計 4, 859, 183円

(内訳)

・売上高 1, 337, 811円

＜宅配販売＞ 0円

＜マルシェ販売＞ 1, 337, 811円

・雑収益 23, 660円

・受取寄附金 3, 496, 525円

・受取利息 1, 187円

## (4) 反省点・改善ポイント

今年度も夏の酷暑があり、全体的に農作物の生産物が少ない。

イベントでは数少ない野菜や食材を工夫活用し食育委員スタッフが提供、好評を得る。

今後も引き続き、作物栽培の技術を磨き生産体制の立て直しを図る。

## (エ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事体験」

## 事業内容

本年度は実施せず。

## 【⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業】 ※ 講師等役職名前は敬称略

## 事業の成果

平成28年3月より豊田市認定生活困窮者自立支援制度における就労訓練事業所開設。

岐阜支部、千葉支部における生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業関連の業務支援。

令和3年(2021年6月～)日進市生活困窮者等就労準備支援事業を受託開始。

令和7年度も「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」を継続受託し、利用者や卒業生の定着就労支援を実施。持続可能な地域共生社会を目指して「愛知県人にやさしい街づくり地域セミナー」を愛知県建築局公共建築部住宅計画課より受託し、日進市都市計画課と協働開催。

#### (ア) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業／生活困窮者」

##### 事業内容

令和7年度も継続事業として再受託。今年度より月・水・金曜日の週3日の支援日を開設。ハローワーク巡回相談は昨年同様に第2第4金曜日の支援日を地域福祉課とくらしサポート窓口と連携し開設。令和5年～6年度に就労した利用者の定着就労フォローアップや引きこもり等から就労意欲を喚起し、社会復帰を目指す若者利用者や被保護者の利用者も増え、当会企業会員(連携事業者)による社会学講座や職場見学、調理実習(自炊)プログラム・農事作業訓練を通じた支援や関係諸機関くらしサポート窓口及び日進市障害者支援センターとの綿密な連携を図り、より充実した体制で伴走型支援を実施。継続利用者3名が福祉就労、一般就労。

その他、岐阜支部、千葉支部における社会的居場所事業や就労準備支援事業、重層的支援体制整備事業等の社会的包摂推進事業業務全般について助言指導。

##### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業(生活困窮者)	生活困窮者自立支援制度に基づいた就労準備支援事業を受託し、生活困窮に至る恐れがある人で、自立がみこまれる人の支援	(A)2025年(R7) 1月6日～ 12月26日 (B)千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 愛知県日進市 (C)2人	(D)豊田市 日進市 一般・会員 (E)就労訓練等 就労準備支援 日進市294人	5,743,370円

##### (2) 総費用

総合計 5,743,370円

○人件費用

(内訳)

・正会員従事者(2人)

・給料手当 5,360,930円

・法定福利費(事) 106,111円

○その他経費

・印刷製本費	20,695円	・旅費交通費	14,590円
・通信運搬費	111,598円	・消耗品費	62,695円
・賃借料	54,475円	・保険料	3,980円
・租税公課	4,261円	・支払手数料	165円
・広告宣伝費	3,870円	・法定福利費(管)	588,288円

### (3) 収益

総合計 9,520,011円

(内訳)

○各支部、エリア指導料 9,520,011円

・日進市	7,374,300円	・千葉	1,200,000円
・岐阜	944,000円	・受取利息	1,711円

### (4) 反省点・改善ポイント

利用者支援の実績は令和6年度前年度比、1割減の294人となったが、利用者数は増加傾向にある。今後、支援体制の充実を図るために、生活困窮者及び被保護者の支援プログラムや職場見学、就労体験等の多様な体験や訓練の機会を増やすことが必要。



#### (イ) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業/その他」

令和6年度 愛知県 人にやさしい街づくり地域セミナー in にっしん

～子どもたちが笑顔で暮らせるミライとコミュニティづくり～

#### 事業内容

愛知県住宅計画課（日進市都市計画協働）委託事業として共働企画と開催運営。生きる上で誰もが役割をもって社会参画し、誰一人取り残さないコミュニティ構築と心身ともに懸鼓で持続可能な自然と地域が共生する社会の実現を目指し、ソーシャルインクルージョン概念の啓発及び実践する市民共育の機会を創り、合理的配慮（包括的なバリアフリー）による地域共生社会の実現を目指す事を目的に基調講演や各分野の実例を踏まえた上でのセミナーとワークショップを開催。こうあるべきだという固定観念や常識の枠を無意識の内に刷り込まれた社会や時代の中で、素直に自分自身を表現できる場、他者の表現をお互いに認め合える場、そして誰もが自分らしく「今」を生きていけるよう、可能性探る事が出来る公平な選択肢の場を一緒に創る事を課題とした講演や事例発表により、多様な視点から地域共生社会（ミライとコミュニティ）づくりの考察を意図したセミナー開催。

#### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業 (その他)	愛知県 「人にやさしい街づくり地域セミナーinにしん」開催 愛知県住宅計画課委託事業(日進市都市計画課協働)	(A) 2025年(R7) 1月19日 13:20~16:30 (B) 日進市社会福祉協議会(中央福祉センター) 2階多機能室 (C) 3人	(D) 日進市行政機関、福祉団体関係諸機関及び県民市民 (E) 49人	146,474円

(2) 総費用

総合計 146,474円

(内訳)

・ 諸謝金	105,000円	・ 印刷製本費	7,230円
・ 広告宣伝費	30,000円	・ 消耗品費	4,244円

(3) 収益

総合計 149,996円

(内訳)

市民協働課 補助金 149,996円

(4) 反省点・改善ポイント

共通テーマである「つくる」を念頭に基調講演及び各福祉分野の事例発表し、視覚による確かな情報共有と振り返りを促すグラフィックレコーディングを同時に実施することで事業取組の理解と関係諸機関の有機的な連携を深める機会となる。今後も同様のテーマ事業を推進し、持続可能な地域共生社会づくりを推進する必要がある。



【⑥食育を推進する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

食育を推進する事業は、農林水産省「消費・安全対策交付金」事業として、にしんスタジオアグリFOOD EDUCATION、教育ファーム検討委員会を開催。食育イベントは、毎年恒例の食育感謝祭を開催。

食育関係として、今年度も、食育、食農、環境の4大イベントの食事提供を行う。

## (ア) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

## 事業内容

前年度に続き、令和6年度農林水産省交付金事業を受託し実施。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事 (食育推進)	令和6年度 農林水産省 交付金事業	(A)2024年(R6) 4月1日～ 2025年(R7) 3月31日 (B)愛知県内 (C)15人	(D)全国民 (E)不特定 多数	32,310円

## (2) 総費用（無償ボランティア 15人）

総合計 32,310円  
(内訳)

・諸謝金 32,310円

## (3) 収益

総合計 306,819円  
(内訳)

## (4) 反省・改善ポイント

8月に道の駅マチテラス日進がオープン、今後の事業の活動拠点として関連団体との連携を進める事が必要。

## (イ) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

## 事業内容

令和6年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供するために、昨年に引き続き日進市での教育ファーム検討委員会を開催し、より充実した食育・食農共育プログラムを企画開発。

第3回には、東海農政局消費・安全部消費生活課西川誠氏の挨拶より開始。東海農政局消費・安全部消費生活課岩崎哲也氏にて、我が国の食生活の現状と食育の推進についての資料を使用し説明。株式会社ファーマーズ・フォレスト中山高行氏にて「道の駅マチテラス日進」の概要等の説明。また、令和7年度以降の道の駅、アグリスクールでの食育プログラム検討。

第4回には、愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2025」について愛知県食育消費流通課宮本一宏氏より説明。第3次日進市食育推進計画を日進市農政課山浦勝義氏より説明。令和7年度以降の道の駅、アグリスクールでの食育プログラムを検討。

第5回には、令和7年度以降の道の駅、アグリスクールでの食育プログラムのまとめを行い、参加者からの提案やこれまでの感想を発表。

令和7年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供するために、昨年に引き続き日進市での

教育ファーム検討委員会を開催し、より充実した食育・食農・共育プログラムを企画開発。

第1回は事業趣旨、食育推進法成立の背景、食育の基本法の体系、第4次食育推進基本計画について説明。委員の自己紹介や令和7年度日進オーガニック米作り、野菜作り体験コースの活動紹介を実施。

第2回には、第1回目欠席者の自己紹介、令和7年度以降の食育プログラム開発についての検討を実施。

### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和6年度 第3回教育ファーム検討委員会	(A)2025年(R7) 1月28日 10:00～11:45 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)日進市職員、日進市市民等 (E)12人	5,830円
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和6年度 第4回教育ファーム検討委員会	(A)2025年(R7) 2月25日 10:00～11:00 (B)日進市民会館 (C)2人	(D)日進市職員、日進市市民等 (E)13人	3,790円
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和6年度 第5回教育ファーム検討委員会	(A)2025年(R7) 3月8日 10:00～11:00 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)日進市職員、日進市市民等 (E)12人	131,065円
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和7年度 第1回教育ファーム検討委員会	(A)2025年(R7) 11月13日 10:00～11:00 (B)日進市民会館 (C)2人	(D)日進市職員、日進市市民等 (E)13人	3,730円
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和7年度 第2回教育ファーム検討委員会	(A)2025年(R7) 12月16日 10:00～11:00 (B)日進市民会館 (C)3人	(D)日進市職員、日進市市民等 (E)12人	4,346円

### (2) 総費用(無償ボランティア 13人)

総合計 148,761円  
(内訳)

・賃借料	9, 6 8 0 円	・諸謝金	1 2 0, 0 0 0 円
・通信運搬費	1 1 0 円	・印刷製本費	7, 2 2 0 円
・消耗品費	1, 9 3 6 円	・旅費交通費	9, 6 5 0 円
・支払手数料	1 6 5 円		

## (3) 収益

総合計 0円

(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

東海農政局、愛知県、日進市より各ステージでの食育推進基本計画の説明を受け、食育に対する理解を深めることができプログラム開発を推進。

令和8年度も道の駅マチテラス日進の受託事業者が参加しており、道の駅マチテラス日進に直結した内容の食農・食育共育プログラム開発を行い市外へもアピール。



## (ウ) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

## 事業内容

「令和6年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業「にしんスタジオアグリFOOD EDUCATION2025 in にしん」を開催。食は心身ともに健康で豊かに暮らす為には、日々の食生活は極めて重要であり、地元で採る旬の食材の活用、栄養バランスに配慮した食生活の実践が求められている。健全な食生活への関心や地産地消への理解促進等、県民に食育への理解を深める事を目的に開催した。内容としては、ドキュメンタリー映画『食べることは生きること』の上映会と、『未来に繋ぐ日本の伝統食と、楽しむためのアレンジ』をテーマに西本容子氏の講演。農事体験発表会を教育ファーム検討委員会 山田真也氏、五島睦氏にて発表。また、中京大学今井ゼミの生徒より日進アグリスクール内で企画した食育食農体験イベント等について発表。中京大学今井ゼミにて『お米になろう！？ごはんの人生すごろく』を開催。米や野菜が出来るまでの栽培工程や日進市での米、野菜作り体験コースについてのパネル展示。日進アグリスクールで栽培したもち米の試食やさといも重量当てクイズ、もみすり体験、脱穀機体験、はざがけ展示、昔ながらの農具展示を実施。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、愛知県地域での食育の推進事業) 「にしんスタ	(A) 2025年(R7) 3月8日 13:00~16:00	(D) 一般市民 (E) 83人	382,325円

	ジオアグリFOOD EDUCATION 2025 in にし ん」として映画上映、 講演会、農業体験発表 等を実施	(B)日進市民会館 小ホール (C)14人		
--	--	-----------------------------	--	--

## (2) 総費用（無償ボランティア 14人）

総合計 382,325円

(内訳)

・諸謝金	55,000円	・保険料	3,000円
・消耗品費	4,396円	・広告宣伝費	83,200円
・賃借料	174,010円	・雑給	34,464円
・印刷製本費	680円	・支払手数料	495円
・旅費交通費	8,800円	・仕入高NPO	10,000円
・通信運搬費	8,280円		

## (3) 収益

総合計 72,000円

(内訳)

・一般大人（高校生以上）	68,000円（1,000円×68人）
・小学生～高校生	4,000円（500円×8人）

## (4) 反省・改善ポイント

ターゲットなる子育て世代の家族やオーガニック米作り、野菜作り体験コースの受講者が参加できるようにプログラムの企画を更新していく事が必要。



## (エ) 「⑥食育を推進する事業／食育イベント」

## 事業内容

第1回食育イベントを「大自然の恵みに感謝『食農感謝祭』杵や臼を使ってお餅をつこう！和太鼓演奏をきいて、体験しよう！」を開催。

イベント冒頭に当会の活動紹介を行い、昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培した峰のむらさき、きぬはなもち、みやたまもちを使い実施。餅つき後に参加者全員でもちまるめを体験。また、赤米の足踏み脱穀機体験、和太鼓グループTSUWAMONO彩の演奏、和太鼓体験会を行う。食事は味噌汁、大根の紅白なます、野菜の天ぷら、ぜんざい等、当会で育てた野菜を使った料理を弁当形式で提供。参加者は自然の中で太鼓の演奏し、お腹も心も満たされ満足。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	第1回食育イベント 「食農感謝祭」を開催 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、もちまるめ、活動紹介。TSUWAMONO彩の和太鼓演奏、和太鼓体験会	(A)2025年(R7) 11月23日 9:30～13:30 (B)豊田市棒の手会館裏当会圃場 (C)15人	(D)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、 会員 (E)40人	3,300円

## (2) 総費用（無償ボランティア 15人）

総合計 3,300円

(内訳)

・賃借料 2,400円 ・保険料 900円

## (3) 収益

総合計 52,500円

(内訳)

- ・一般大人（高校生以上） 18,000円（2,000円×9人）
- ・会員大人（高校生以上） 10,500円（1,500円×7人）
- ・中学生 0円（2,000円×0人）
- ・小学生以下 4,500円（500円×9人）
- ・未就学児（3歳以下） 0円（500円×0人）
- ・スタッフ 19,500円（1,500円×13人）  
(食事代 希望者のみ)

## (4) 反省・改善ポイント

圃場の水はけが悪く、工夫が必要。物品の準備等は2年間の経験をもとに行いスムーズに実行。インフルエンザ等の流行に伴い集客減少あり。



## (オ) 「⑥食育を推進する事業／食育イベント」

## 事業内容

「食農感謝祭ミニinにつしん」を開催。

日進市で2回目となる餅つき体験会を開催。昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培した峰のむらさき、きぬはなもち、みやたまもちを使用し行う。餅つき後、参加者全員でもちまるめ体験を実施。寒い中であつたので、焚火も用意。非日常的な体験

を喜び楽しむ。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	「食農感謝祭ミニ in にっしん」を開催 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、もちまるめ	(A)2025年(R7) 2月9日 9:30~12:00 (B)日進市本郷町 圃場 (C)14人	(D)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E)50人	10,196円

(2) 総費用 (無償ボランティア 14人)

総合計	10,196円		
(内訳)			
・仕入高NPO	7,980円	・消耗品費	1,616円
・保険料	600円		

(3) 収益

総合計	39,500円		
(内訳)			
・参加費 (小学生以上)	30,000円	(1,000円×30人)	
・未就学児 (3歳以下)	2,500円	(500円×5人)	
・スタッフ	7,000円	(500円×14人)	

(4) 反省・改善ポイント

今年も過去のアグリスクール参加者とボランティア参加者を中心に募集したところ、すぐに募集定員に到達。参加者と交流、また当会の活動紹介を行う機会となる。



(カ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

イベントの残り調味料を販売、必要消耗備品を購入。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	食育関係 イベントの残り調味料販売と必要消耗品の購入	(A) 2025年(R7) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 5人	(D) — (E) —	29,254円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 29,254円

(内訳)

・仕入高NPO 4,536円

・諸謝金 18,000円

・消耗品費 6,718円

## (3) 収益

総合計 22,536円

(内訳)

## (キ) 「⑥食育を推進する事業/食育関係」

## 事業内容

今年度も、豊田市で開催している食育、食農、環境イベントにて食事を提供。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。毎回、参加者より美味しかったと好評。

## (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 食農イベント 「親子で楽しむ♪ 食農・食育体験 むらさきのお米の田植えをしよう!」を開催	(A) 2025年(R7) 5月4日 9:30~13:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 14人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 18人	15,240円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 環境イベント 「自然と共生する 田んぼで生き物みつけ♪」を開催	(A) 2025年(R7) 8月3日 9:30~13:30 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 12人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 20人	32,620円

⑥食育を推進する事業 (食育関係)	第2回 食農イベント 「生き物いっぱい の完全オーガニック の田んぼで昔な がらの稲刈りたい けんをしよう♪五 平餅付き」を開催	(C) 2025年(R7) 9月28日 9:30~13:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 21人	17,372円
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	第1回 食育イベント 「食農感謝祭」を開 催 杵と臼を使用した 昔ながらのもちつ き、もちまるめ、活 動紹介。和太鼓演 奏、和太鼓体験会	(A) 2025年(R7) 11月23日 9:30~13:30 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 40人	49,408円

## (2) 総費用(無償ボランティア 56人)

総合計 114,640円

(内訳)

○食育関係 田植え体験(5/4)	15,240円	
・仕入高NPO 12,663円		・消耗品費 2,577円
○食育関係 生き物調査(8/3)	32,620円	
・仕入高NPO 27,206円		・消耗品費 5,414円
○食育関係 稲刈り(9/28)	17,372円	
・仕入高NPO 12,718円		・消耗品費 4,654円
○食育関係 食農感謝祭(11/23)	49,408円	
・仕入高NPO 39,312円		・消耗品費 10,096円

## (3) 収益

総合計 121,200円

(内訳)

○食育関係 田植え体験(5/4)	25,600円
○食育関係 生き物調査(8/3)	28,800円
○食育関係 稲刈り(9/28)	28,800円
○食育関係 食農感謝祭(11/23)	38,000円

## (4) 反省・改善ポイント

2025年も、暖冬や猛暑の影響が続き、野菜の生育状態も思わしくなかった為、イベントで使える野菜の品目が少なく、内容変更や創意工夫をして献立を作成。



### 【⑧介護保険法に基づく地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業】

#### 事業の成果

日進市米野木町北山の物件で地域共生及び共生型デイサービス開設に向け助成金の調査を行い申請。

#### (ア) 「⑧介護保険法に基づく地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業／その他」

##### 事業内容

日進市米野木町北山の物件にて、誰もが安全で安心して暮らせる相互扶助の地域福祉と地球環境にやさしいコミュニティモデルを創造する為に日本財団の助成プロジェクトである「第5回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」へ申請。結果は1次審査で不採択。

##### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(C) 当該事業の実施日時 (D) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧介護保険法に基づく地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業。 (その他)	第5回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト	(A) 2025年(R7) 6月13日 (B) 当会事務所等 (C) 2人	(D) 日進市民 (E) 介護保険の被保険者	0円

##### (2) 総費用（無償ボランティア 2人）

総合計 0円  
(内訳)

##### (3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

##### (4) 反省点・改善ポイント

日本財団の申請は当会としては初めての取り組み。今まで物件所有をしておらず入り口

にも立てない状況だったのが申請できるまでに至る。今後、日本財団を含め他の助成金にも挑戦。

### 【⑨児童福祉法に基づく障害児通所支援事業】

#### 事業の成果

日進市米野木町北山の物件で地域共生及び共生型デイサービス開設に向け助成金の調査をし、申請。

#### (ア) 「⑨児童福祉法に基づく障害児通所支援事業／その他」

##### 事業内容

日進市米野木町北山の物件にて、誰もが安全で安心して暮らせる相互扶助の地域福祉と地球環境にやさしいコミュニティモデルを創造するために日本財団の助成プロジェクトである「第5回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」へ申請。結果は1次審査で不採択。

#### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(E) 当該事業の実施日時 (F) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑨児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 (その他)	第5回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト	(A) 2025年(R7) 6月13日 (B) 当会事務所等 (C) 2人	(D) 日進市民 (E) 児童福祉法における被保険者	0円

#### (2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 0円  
(内訳)

#### (3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

#### (4) 反省点・改善ポイント

日本財団等の大型助成金の申請は当会としては初めての取り組み。この機会を得て、実際助成を受けた団体とも情報交換。

### 【⑩障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業】

#### 事業の成果

自立訓練、就労継続支援B型等の就労支援の企画、予算等を検討。

(ア) 「⑩障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業/その他」

事業内容

自立訓練、就労継続支援B型等の就労支援の企画、予算等を検討。  
東海農政局を訪問し農山漁村振興交付金についての相談を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(G) 当該事業の実施日時 (H) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑩障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 (その他)	企画立案	(A) 2025年(R7) (B) 当会事務所等 (C) 2人	(D) 日進市民 (E) 障害福祉サービスにおける給付者	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 2人)

総合計 0円  
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

地域共生や地域コミュニティづくりにおいて、就労支援も不可欠であることから継続して企画を立案。

【⑪その他この法人の目的を達成する為に必要な事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

その他この法人の目的を達成する為に必要な事業として、協働事業は例年の日進アグリスクールがオーガニック農業体験事業となり継続。オーガニック米作り体験コース、オーガニック野菜作り体験コースの2コースを実施。

(ア) 「⑪その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/協働事業」

事業内容

農地賃借料と圃場管理経費

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑪その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	農地賃借料と圃場 管理経費	(A)2025年(R6) 1月1日～ 12月31日 (B)豊田市、日進市 当会圃場 (C) —	(D) — (E) —	42,300円

## (2) 総費用

総合計 42,300円

(内訳)

・賃借料 41,970円 ・支払手数料 330円

## (3) 収益

総合計 0円

(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

オーガニック米作り体験コースの会場であった圃場を返却。令和8年度からは東部丘陵にて米作りを開始。新たな地主との繋がりも大切にして事業を進める。

## (イ) 「⑪その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

## 事業内容

日進市の委託事業として「オーガニック農業体験事業米作り体験コース」を開催。

5月11日、第1回「田植え」を開催。最初に開講式として、主催者挨拶、参加者の自己紹介を家族毎に行い、につきん体操後、苗取りと田植えを実施。塩田悦己がレクチャーを担当。峰のむらさき苗を使用。今回も苗取りや田植えが初めての家族が多かったが、日常とは違う体験を生懸命に楽しんで作業。

7月27日、「自然・生き物観察、どろリンピック」を開催。につきん ESD 総合共育プロジェクト、共育ファームの意義を説明し、受講生の苗についてインタビューを行い実施。恒例となった「テデトールビンゴ」を行う。田んぼの中や外にある雑草や植物を見つけながら、どんな植物があるのかをビンゴの形にして見つけた草をチェック、併せて田んぼや周辺に生育している生き物調査を実施。どろリンピックでは田んぼ距離走を行う。大人の部、小中学生の部、幼児の部と分け、各部の優勝者に記念品を贈呈した。

9月21日、第3回「稲刈り・はざがけ」を開催。昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざがけを実施。田植えから始まり無事に収穫まで成長した稲を見て、感動し収穫している参加者の表情が印象的。また、その場でもみを取り試食も行う。昔ながらの手鎌での稲刈りやはざがけ方法などの伝承農法を体験することにより、食農の大切さや自然の恵みへの感謝を伝える良い機会となる。

10月5日、第4回「足踏み脱穀・わらリンピック」を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとり、わら切り、わらまきをグループごとに分かれて一連の流れを実施。また、コンバインを持ち込み、現代では収穫から脱穀、わら切りまで機械で一度に行う事が出来る旨を説明。昔と今との違いについて学習。わらリンピックでは、わらなげ競争、わらを使ったリレーを実施。子どもから大人まで夢中になり白熱する内容となる。

10月26日、第5回目は『もみすり・工作・試食』を開催。手での粃取りやすり鉢、一升瓶を使った粃摺りを実施。また、とうみ、選別を実施。脱穀後の藁を使いクリスマスリースを作成。装飾するものは松ぼっくりやどんぐりなど自然のものを使用。今年栽培した峰のむらさきを試食。これまでの振り返りを実施。参加者は粃摺り、クリスマスリース作りと夢中に楽しそうに取り組む。

### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 米作り体験コース 田植え	(A)2025年(R7) 5月11日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)6人	(D)一般市民 (E)39人	30,980円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 米作り体験コース 生き物観察、テデトールビンゴ、どろりリンピック	(A)2025年(R7) 7月28日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)9人	(D)一般市民 (E)34人	28,030円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 米作り体験コース 峰のむらさきの稲刈りとはざがけ	(A)2025年(R7) 9月21日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)5人	(D)一般市民 (E)34人	22,242円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 米作り体験コース 峰のむらさきの足踏み脱穀、わらリンピック	(A)2025年(R7) 10月5日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)8人	(D)一般市民 (E)34人	3,180円



また、塩田悦己講師が育てたオーガニックスイカを提供し水分補給を実施。スイカ好きな参加者に大変喜ばれる。暑い日が続いていたので、開催時間を30分短縮。

10月19日、第4回「試し掘り・管理作業」を開催。開催式にて里芋の生育状況について共有、収穫についてレクチャー。前半は里芋の管理作業と試し掘りを実施。今年の里芋は雨不足で収穫量が前年より少ないが、初めて里芋を掘る参加者もいて喜ばれる。後半はサツマイモ試し掘り・枝豆収穫も実施。実りも良く参加者は満足。

11月2日、最終回「収穫・試食・種芋保管など」を開催。自分たちで育てた里芋を収穫し、前回掘り起こしておいた里芋やサツマイモを焼き芋にして提供。前回試し掘りした事により里芋などをスムーズに収穫。また里芋は自分達で栽培した事で、思い出もあり喜び感じて試食。

### (1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 野菜作り体験コース 畑畝づくり、里芋植え付け	(A)2025年(R7) 4月20日 9:30~12:00 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)7人	(D)一般市民 (E)34人	5,073円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 野菜作り体験コース 土づくり、管理作業	(A)2025年(R7) 6月8日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)4人	(D)一般市民 (E)30人	0円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 野菜作り体験コース 畑畝づくり、大豆播種、夏の管理作業	(A)2025年(R7) 7月20日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)4人	(D)一般市民 (E)25人	2,480円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 野菜作り体験コース 試し掘り、管理作業	(A)2025年(R7) 10月19日 (B)日進市本郷町当 会圃場 (C)6人	(D)一般市民 (E)26人	6,525円
⑩その他この法人の目的を達成するために	第5回 野菜作り体験コース 収穫、試食、種芋保管	(A)2025年(R7) 11月2日 (B)日進市本郷町当	(D)一般市民 (E)30人	550円

必要な事業 (協働事業)	など	会圃場 (C)9人		
-----------------	----	--------------	--	--

## (2) 総費用 (無償ボランティア 30人)

総合計	14,462円			
(内訳)				
・仕入高NPO	6,250円	・消耗品費	4,559円	
・車両費	3,654円	・支払手数料	165円	

## (3) 収益

総合計	469,150円			
(内訳)				
・事業収益	469,150円			

## (4) 反省点・改善ポイント

昨年から連続で参加している参加者もあり、恒例的となる。内容を少しずつでも変化させて継続的に参加に繋げる。第2回は、前年度参加者もいて、作業をスムーズにする事が出来たが、畑作業に慣れていない参加者もいて、休憩などの声掛けが随時必要。第3回は、気温が高い中での作業となり、作業毎に休憩が必要。昨年同様暑かったので、暑さ対策を随時見直す必要あり。第4回は、スコップや鎌などを初めて使用する子どもがいて、参加者同士の距離を適切に保ち、参加者を含めた大人で見守ることで対応。第5回は、前回に里芋を試し掘りする事でスムーズに収穫。新規会員がスタッフ側で参加し、スタッフ育成の一環となる。



## (エ) 「⑩その他この法人の目的を達成する為に必要な事業/その他」

## 事業内容

愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間「企業探究プロジェクト」に参画  
令和6年度、愛知県立日進西高等学校の進路指導主事の教師から日進市企画政策課を通じて依頼を受け、本プロジェクトに参画。2年生が日進市に関わりのある企業・団体がどの様に社会と関わりを持ち貢献しているか理解を深める事を目的に、企業が直面している課題、地域の課題を発見し解決方法等の探究を行うプロジェクト。当法人は、2年2組が担当クラスとなり、活動を紹介すると共に「農業：若者の担い手を増やすには」、「食育：食育に関して高校生の課題を見つけ、その解決策を実践するにはどうしたらいいか」、「福祉：高校生のうちからできる引きこもりにならない為の方策」の3つの課題を提示し、3~4人のグループで検討し、プレゼン内容を審査。最優秀のチームは、全校生徒の前だけではなく、日進市立日進中学校の1・2年生にもプレゼンを実施。

令和7年度、昨年度に引き続き本プロジェクトに参画。当法人のプロジェクトに取り組み

たい31名の生徒を対象に、活動を紹介すると共に「農業：STOP米離れ！若者を米に惹きつけるには」という課題を提示。1グループ5～6人で6グループに別れて検討。検討途中でクラスに入り、各グループの進捗を確認し、フィードバックを実施。

(発表は令和8年1月・2月に実施)

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間 「企業探究プロジェクト」(令和6年度)	(A)2025年(R7) 1月8日 15:30～16:20 (B)愛知県立日進西 高等学校 (C)2人	(D)愛知県立 日進西高 等学校2 年生 (E)日進西高 校約300名	0円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間 「企業探究プロジェクト」(令和6年度)	(A)2025年(R7) 1月22日 14:20～15:10 (B)愛知県立日進西 高等学校 (C)2人	(D)愛知県立 日進西高 等学校2 年生 (E)日進西高 校約300名	0円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間 「企業探究プロジェクト」(令和6年度)	(A)2025年(R7) 1月29日 15:30～16:20 (B)愛知県立日進西 高等学校 (C)2人	(D)愛知県立 日進西高 等学校2 年生 (E)日進西高 校約300名	0円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間 「企業探究プロジェクト」(令和6年度)	(A)2025年(R7) 2月21日 14:55～15:42 (B)日進市立日進中 学校 (C)2人	(D)愛知県立 日進西高 等学校2 年生 (E)日進西高 校約300名	0円
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間「企業探究プロジェクト」(令	(A)2025年(R7) 6月18日 15:30～16:20 (B)愛知県立日進西	(D)愛知県立 日進西高 等学校2 年生	0円

(協働事業)	和7年度)	高等学校 (C)2人	(E)31名	
①その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	愛知県立日進西高等学校2年生 総合的な探究の時間「企業探究プロジェクト」(令和7年度)	(A)2025年(R7)12月3日 15:30~16:20 (B)愛知県立日進西高等学校 (C)2人	(D)愛知県立日進西高等学校2年生 (E)31名	0円

## (2) 総費用 (無償ボランティア 12人)

総合計 0円  
(内訳)

## (3) 収益

総合計 0円  
(内訳)

## (4) 反省点・改善ポイント

探求テーマを3つにした所、生徒がテーマを選択し辛かった可能性が高い為、次年度は1つのテーマに絞って提案。

探求テーマを1つにしたが、2学期の大半は学校行事に追われていた為、生徒が探求する時間が無かった様子。間が空き過ぎない方がよい事を高校側に提案。



## (2) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

## ■事務局管理費

## 1 総費用

総合計 3,465,602円  
(内訳)

## 管理費の内訳

仕入高NPO	130,779円
印刷製本費(管理)	22,700円
通信運搬費(管理)	431,829円

旅費交通費（管理）	900円
水道光熱費（管理）	204,606円
消耗品費（管理）	147,578円
地代家賃（管理）	1,080,000円
賃借料（管理）	19,000円
広告宣伝費（管理）	18,040円
接待交際費（管理）	3,078円
諸会費（管理）	48,375円
租税公課（管理）	142,446円
支払手数料（管理）	1,216,271円

## 2 収 益

総合計 5,148,987円

(内訳)

正会員受取会費	808,000円
団体・企業受取会費	150,000円
受取入金	17,000円
寄附金収入	3,377,259円
受取利息	40,144円
雑収益	756,584円

※次年度以降の事業に対して今年度多大な寄附金を頂いた。

## 3 会議の開催に関する事項

### 【1】通常総会

#### (1) 開催日時及び場所

第17回 通常総会を開催。

2025年(令和7年)3月9日 10:00～12:00

Niterra 日本特殊陶業市民会館（名古屋市民会館） 第1会議室

会員・一般 60人

(内訳) 個人正会員 当日参加者40人 委任状18人 一般 2人

#### (2) 総費用（無償ボランティア15人）

総合計 37,813円

(内訳)

・印刷製本費	15,536円	・旅費交通費	3,800円
・消耗品費	6,522円	・通信運搬費	7,955円
・会場賃借料	4,000円	(会場費、ワイヤレスマイク含む)	

#### (3) 収益

総合計 75,000円

(内訳)

《 通常総会 & マザリーアースプロジェクトセミナー 》

- ・参加費 1, 000円 ( 500円× 2人)
- ・参加費 61, 200円 (1, 700円×36人)
- ・弁当代 8, 400円 (1, 200円× 7人)
- ・一般 4, 400円 (2, 200円× 2人)

#### (4)反省点・改善ポイント

例年のウィルあいちが改装工事の為使用できず会場変更。会館開場から受付開始まで時間が短かく、当日会場でのミーティングが疎かになる。状況に合わせての事前伝達等をや開催日について、3月第2週は準備の都合上厳しい為、第3週、第4週での開催を検討。



#### ア 通常総会

##### ・開催日時及び場所

2025年(令和7年)3月9日 10:00~12:00

Niterra日本特殊陶業市民会館(名古屋市民会館) 第1会議室

- 第一号議案 2024年(令和6年)度 事業報告、決算報告について
- 第二号議案 2024年(令和6年)度 監査報告について
- 第三号議案 2024年(令和6年)度 寄附金活用報告について
- 第四号議案 2025年(令和7年)度 事業計画(案)、活動予算(案)について
- 第五号議案 2025年(令和7年)度 理事・監事(案)について
- 第六号議案 2025年(令和7年)度 運営組織・人事(案)について
- 第七号議案 寄附金の特定資産について
- その他

## 【2】理事会

### 第1回理事会

#### ・開催日時及び場所

2025年(令和7年)2月16日 10:05~15:00

鶴舞事務所

#### ・審議事項

- 第一号議案 日進米野木福祉事業について
- 第二号議案 日進米野木物件移住費について
- 第三号議案 米の販売価格について
- 第四号議案 寄附金の特定資産について

第五号議案 第17回通常総会審議について  
第六号議案 第17回通常総会プログラム案について  
その他

#### 第2回理事会

・開催日時及び場所  
2025年（令和7年）2月23日 15:05～18:30  
鶴舞事務所  
・審議事項

第一号議案 日進米野木福祉事業について  
第二号議案 日進農地の経過報告について  
その他

#### 第3回理事会

・開催日時及び場所  
2025年（令和7年）3月23日 10:05～15:00  
鶴舞事務所  
・審議事項

第一号議案 日進米野木福祉事業について  
第二号議案 農事専従者雇用について  
第三号議案 三つ折りリーフレットについて  
その他

#### 第4回理事会

・開催日時及び場所  
2025年（令和7年）4月20日 21:00～24:55  
鶴舞事務所

第一号議案 日進米野木福祉事業について  
第二号議案 定款変更について  
第三号議案 日進米野木物件移住費について  
第四号議案 村野稔章の雇用内容（形態）について  
第五号議案 農地所有適格法人（農業法人）について  
その他

#### 第5回理事会

・開催日時及び場所  
2025年（令和7年）4月24日 9:00～12:00  
日進市にぎわい交流館2階和会議室

第一号議案 村野稔章の雇用内容（形態）について  
第二号議案 農地所有適格法人（農業法人）の立ち上げについて  
その他

#### 第6回理事会

・開催日時及び場所  
2025年（令和7年）5月12日 10:00～11:15  
鶴舞事務所

第一号議案 定款変更について  
その他

第7回理事会

・開催日時及び場所

2025年（令和7年）11月8日 13:30～19:00

鶴舞事務所

第一号議案 農地所有適格法人立ち上げについて

第二号議案 日進市米野木町事業について

その他

第8回理事会

・開催日時及び場所

2025年（令和7年）12月7日 19:00～23:00

鶴舞事務所

第一号議案 農地所有適格法人立ち上げについて

その他

第9回理事会

・開催日時及び場所

2025年（令和7年）12月29日 19:00～23:00

鶴舞事務所

第一号議案 農地所有適格法人立ち上げについて

第二号議案 令和8年度事業方針について

第三号議案 令和8年度年間スケジュールについて

第四号議案 令和8年度組織、監事、理事について

第五号議案 令和7年度寄附金使用について

第六号議案 令和8年度各事業部門予算について

その他